



取り扱い設置説明書

パネル型スクリーンTFM-250／TFM-200HD・250HD

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

安全上のご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。

必ずお読みください

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。



注意

この表示の欄は「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。



禁止

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「**注意喚起**」内容です。

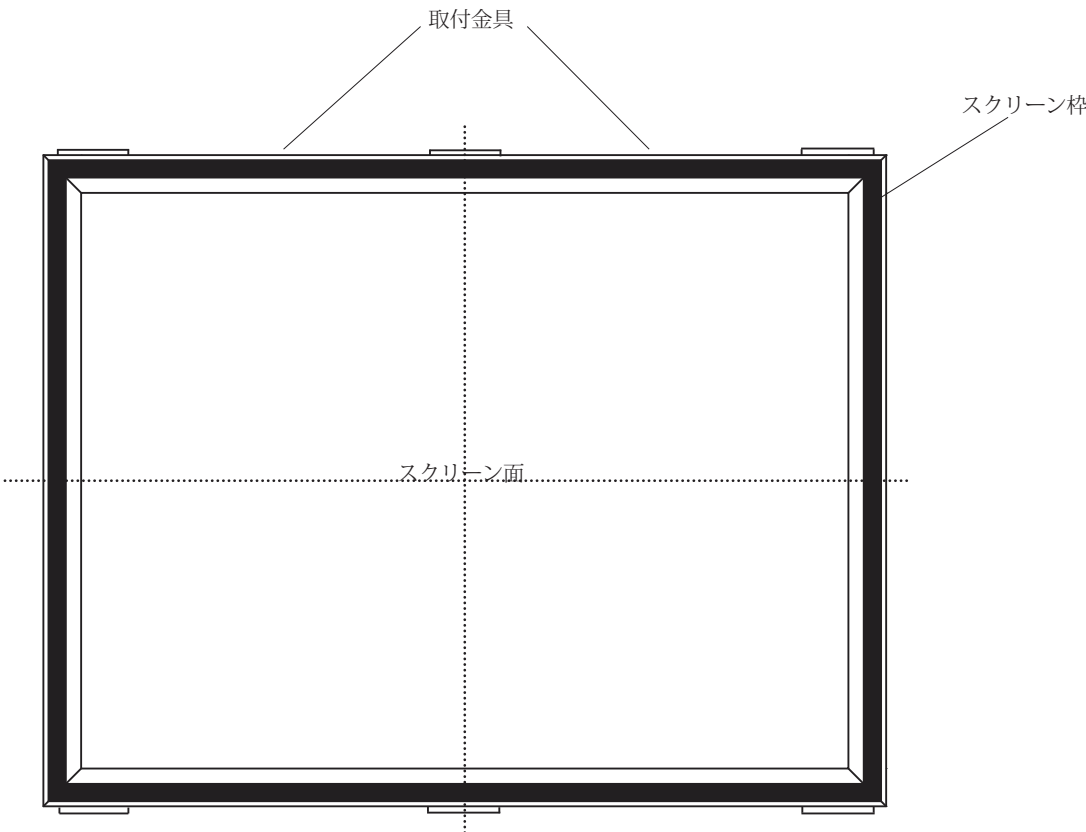


このような絵表示は、必ず実行していただきたい「**強制**」内容です。

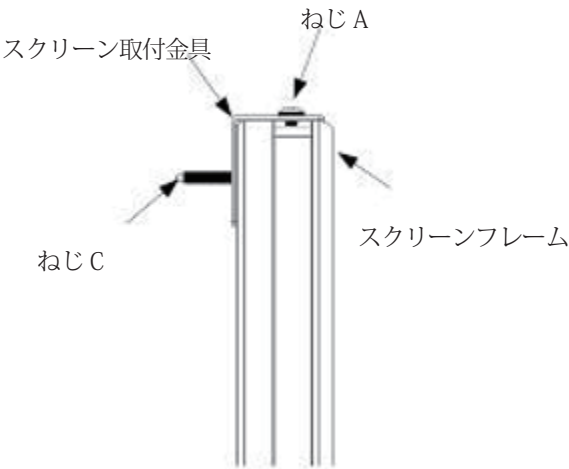
※取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称と寸法

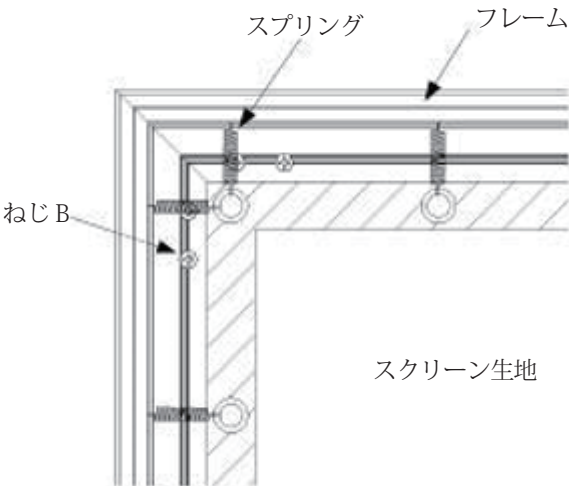
(1) 製品各部の名称



・側面図



・背面図



MEMO

使用上のご注意

スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

- スクリーンの表面には絶対に触らないでください。また、ボールペンやマジックペンでスクリーン表面に文字などを書いたりしないでください。書いたものが落ちなくなるなど、スクリーンを破損する原因になります。
- ベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはがれるなど、スクリーンを破損する原因になります。
- スクリーン表面を固いものでこすらないでください。スクリーンを破損する原因になります。

お手入れのしかた

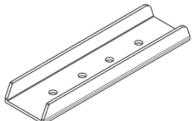
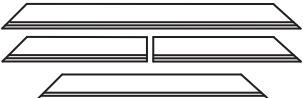
- スクリーン面の掃除は、柔らかい布を水で湿らせてごく軽く拭いてください。汚れのひどいときは少量の中性洗剤を薄めた水か、アルコールで布を湿らせて拭き取ってください。
- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシ等で軽く払ってください。

置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となりますので避けてください。

(2) 付属品の種類・数量の確認

梱包を開き、次の付属品がそろっているかを確認してください。
万一、足りないものがある場合は販売店又は当社営業担当者までお問い合わせください。

スプリング…×52～124 	スプリング取付用工具…×1 	コーナージョイント…×4 	M6板ナット…×4～10 
ねじA…×4～18 (M6×8mm) 	ねじB…×16 (M6×12mm) 	ねじC…×8～12 (5×25mm) 	アンカープラグ…×8～12 
補強フレーム…×2 	ストレートジョイント…×2 (160インチ以上) 	スクリーン取付金具…×4～6 	スクリーンシート…×1 
スクリーン上下枠 (160インチ以上は分割) …×2～4 スクリーン左右枠…×2 	※スプリングは、スクリーンのサイズによって梱包の個数が変わります。		



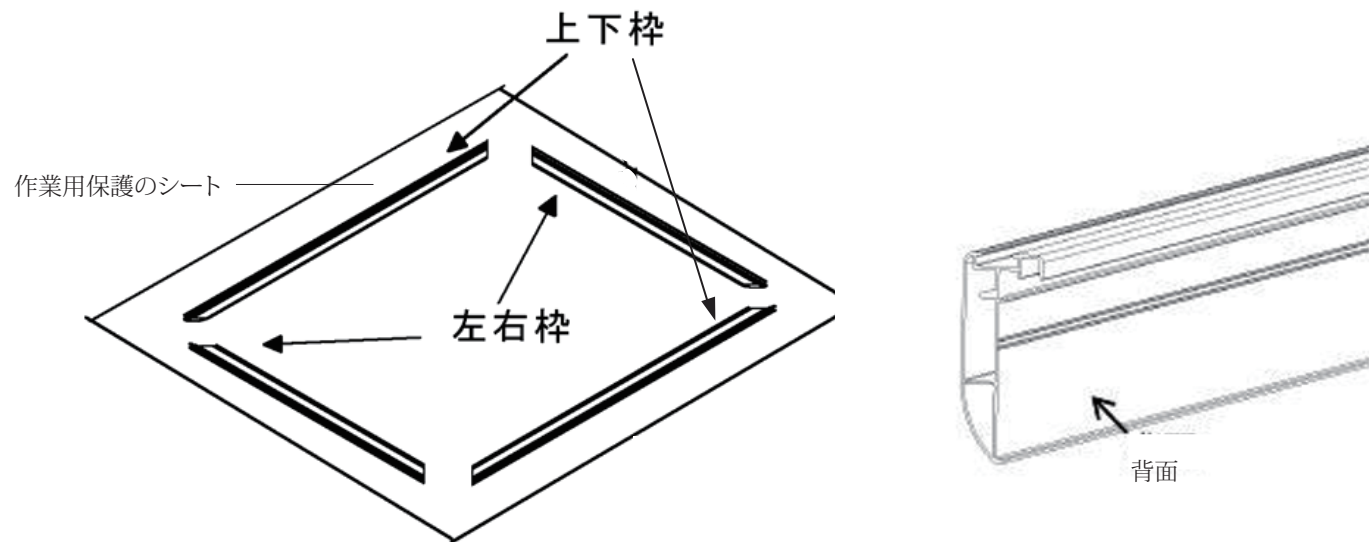
株式会社 キクチ科学研究所 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. (03) 3952-5131(代) FAX. (03) 3953-0051

スクリーンの取り付け方法

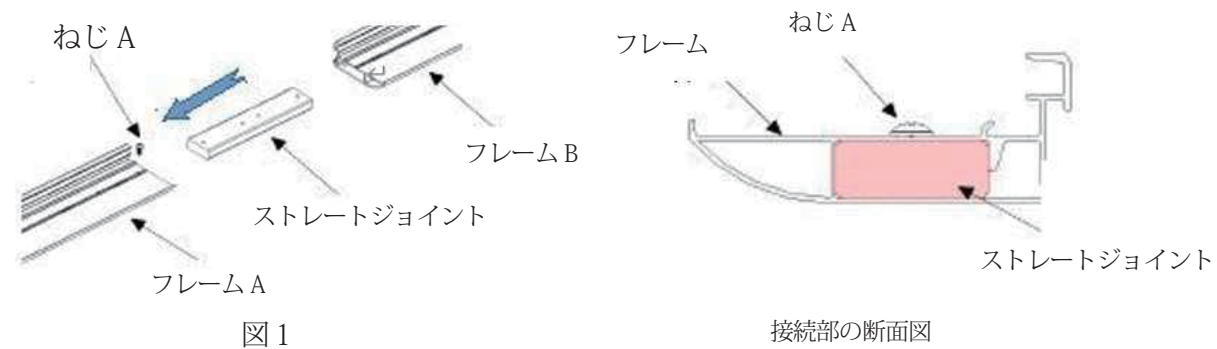

警告


1. 組み立て・設置のときは必ずこの取扱説明書に従い、2名以上で行ってください。
2. スクリーンの梱包は、必ず取り付ける直前に開封してください。破損の原因になります。
3. スクリーンを組み立てる際、必ずスクリーンを保護するためのシートを下に敷いてください。

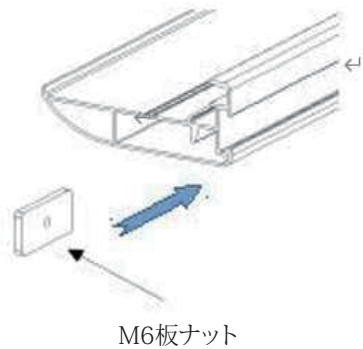
(1) スクリーン枠の前面を下にして図のように置きます。



(1※) 上部および下部のフレームの接続を行います。
※160インチ以上の製品のみ接続を行います。160インチ未満の製品は不要です。
図1に示すように、ストレートジョイントをフレームAに挿入し、2本のねじAで仮止めします。
同様にストレートジョイントをフレームBに挿入し2本のねじAで仮止めします。
フレームA・Bの隙間がないよう4本のねじAを締めます。

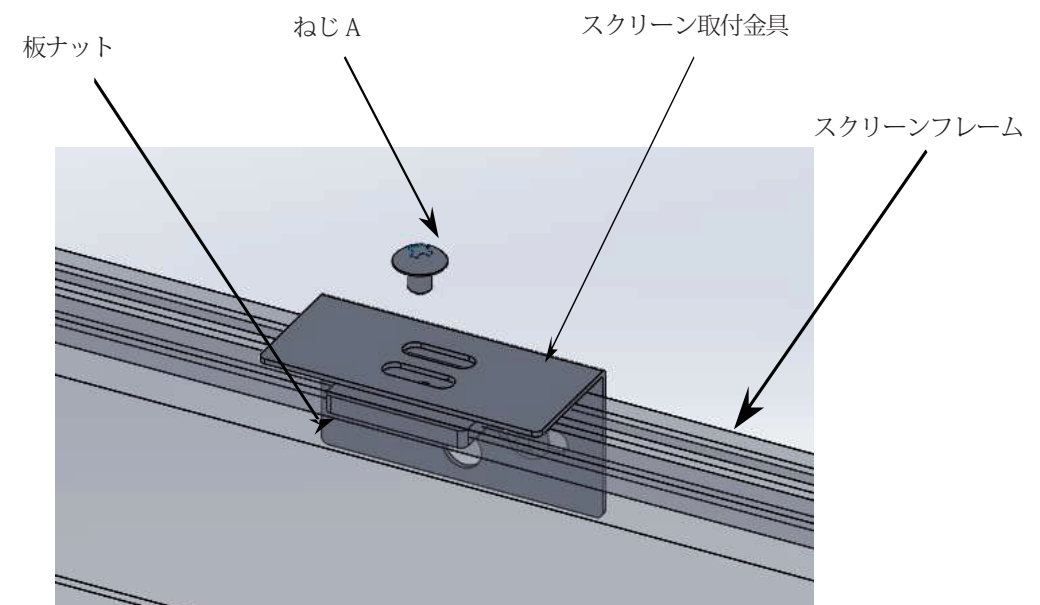
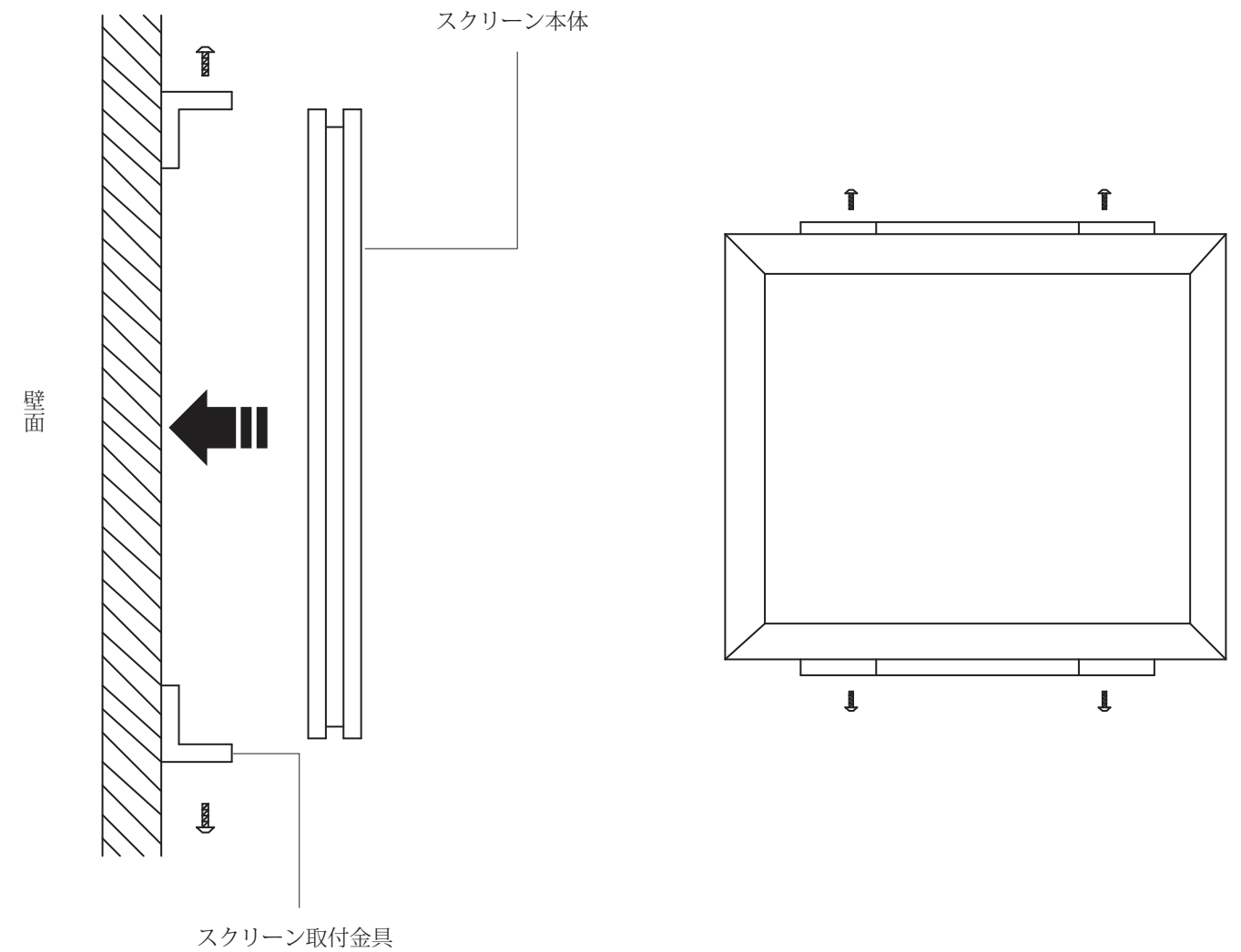


(2) 上下フレームのスロットにM6板ナットを差し込みます。入れる個数は下表の通りです。



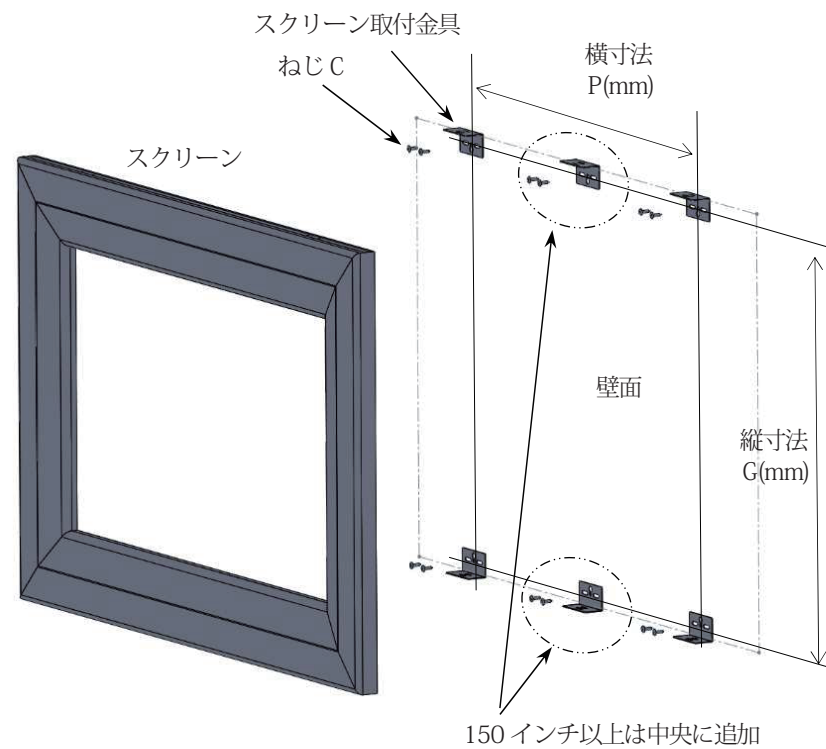
インチ数	150インチ未満	150インチ以上
M6板ナット数量	上下各2個:計4個	上下各5個:計10個

(2) スクリーン本体についている保護シートを取り除きます。
このとき、スクリーンの表面には絶対に触らないでください。
上下フレームとスクリーン取付金具の位置を合わせ、上下フレームに挿入されたM6板ナットとスクリーン取付金具をねじAにて固定します。(150インチ未満は4か所、150インチ以上は6か所)



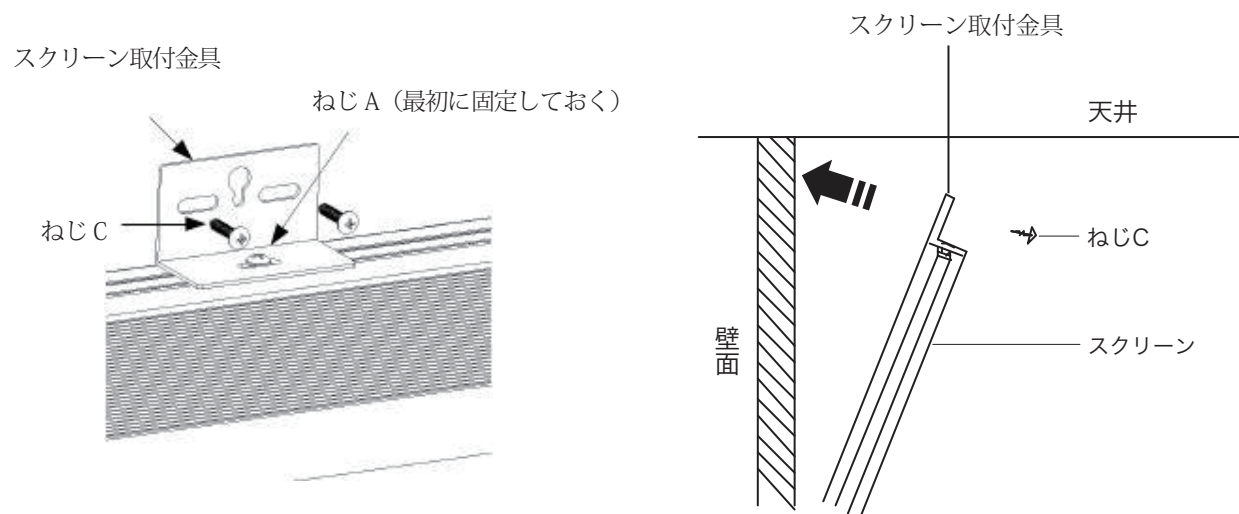
スクリーンの壁面への取り付け方法

- (1) スクリーン取付金具(上下各2個、150インチ以上は上下各3個)を壁面に適切なねじで取り付けます。
この時、スクリーン取付金具が水平になっていることを確認してください。
(取り付けにねじCを使用する場合、ねじの本数はP3の表を参照ください)

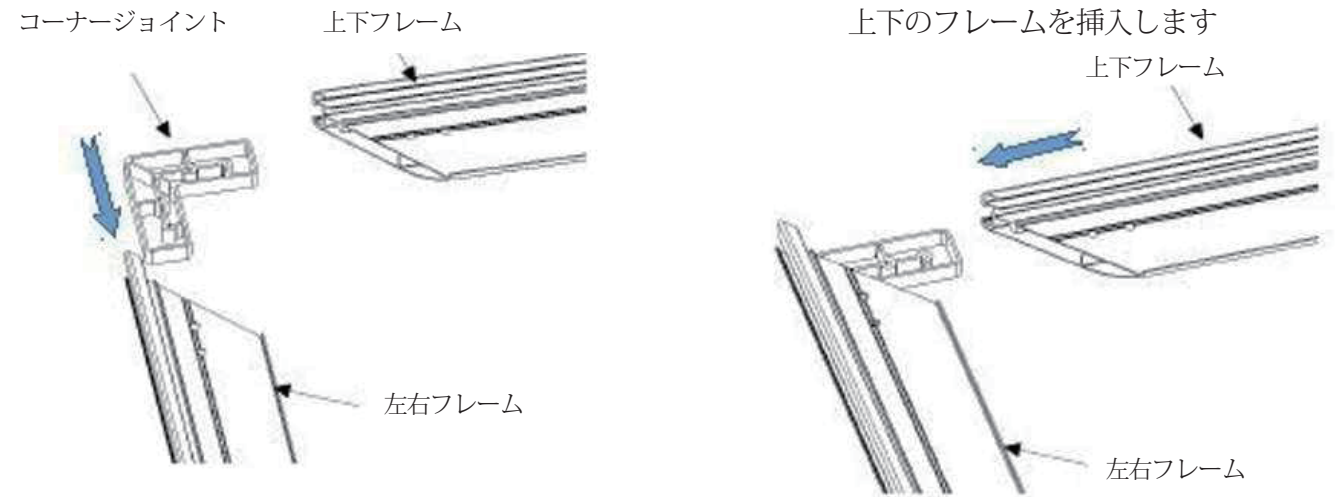


天井面との間に
スペースがない場合

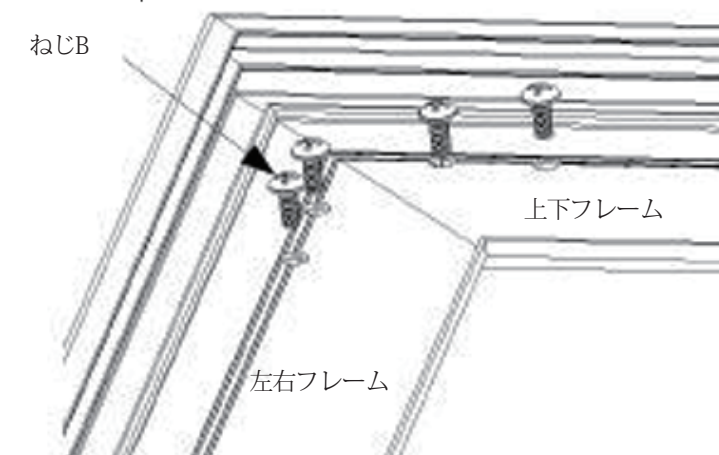
スクリーンの上下フレームに挿入された板ナットにスクリーン取付金具を、下図の方向で取り付けます。スクリーンの表面に触れないように保護シートを取り外します。設置するスクリーンの位置および平行を確認し、ねじCにて、壁面に固定します。



- (3) コーナージョイントを左右のフレーム外側の溝に挿入し、上下のフレームに接続します。

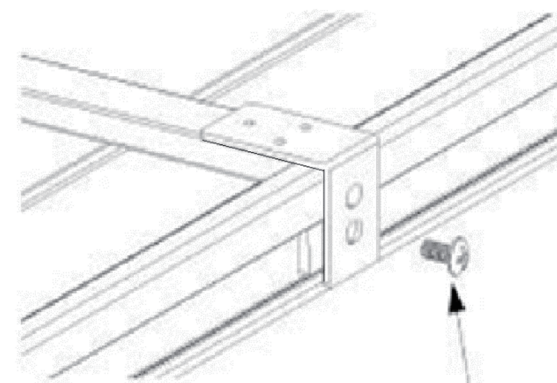


- (4) 四隅を揃えながら、ねじ止めして、上下・左右のフレームを固定します。
スクリーンフレームの対角の寸法差が無いように調整し、上下・左右のフレームに隙間が空かないようにねじBを締めます。



- (5) スクリーンシートの各コーナーをスプリングで枠に固定します。
スプリングの取り付けは付属のスプリング取付用工具をご使用ください。

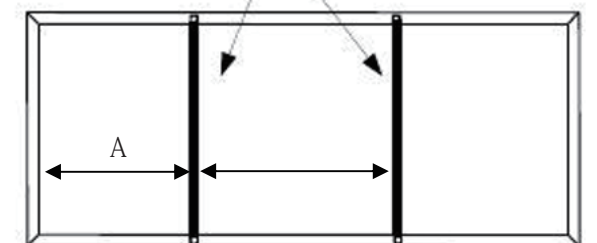
- (6) 補強パイプを取り付けます。
はじめに固定金具とプレートで補強パイプを挟む形でねじAを使って固定します。



M6 板ナットに補強フレームの取り付け部を合わせ
ねじAで固定する。

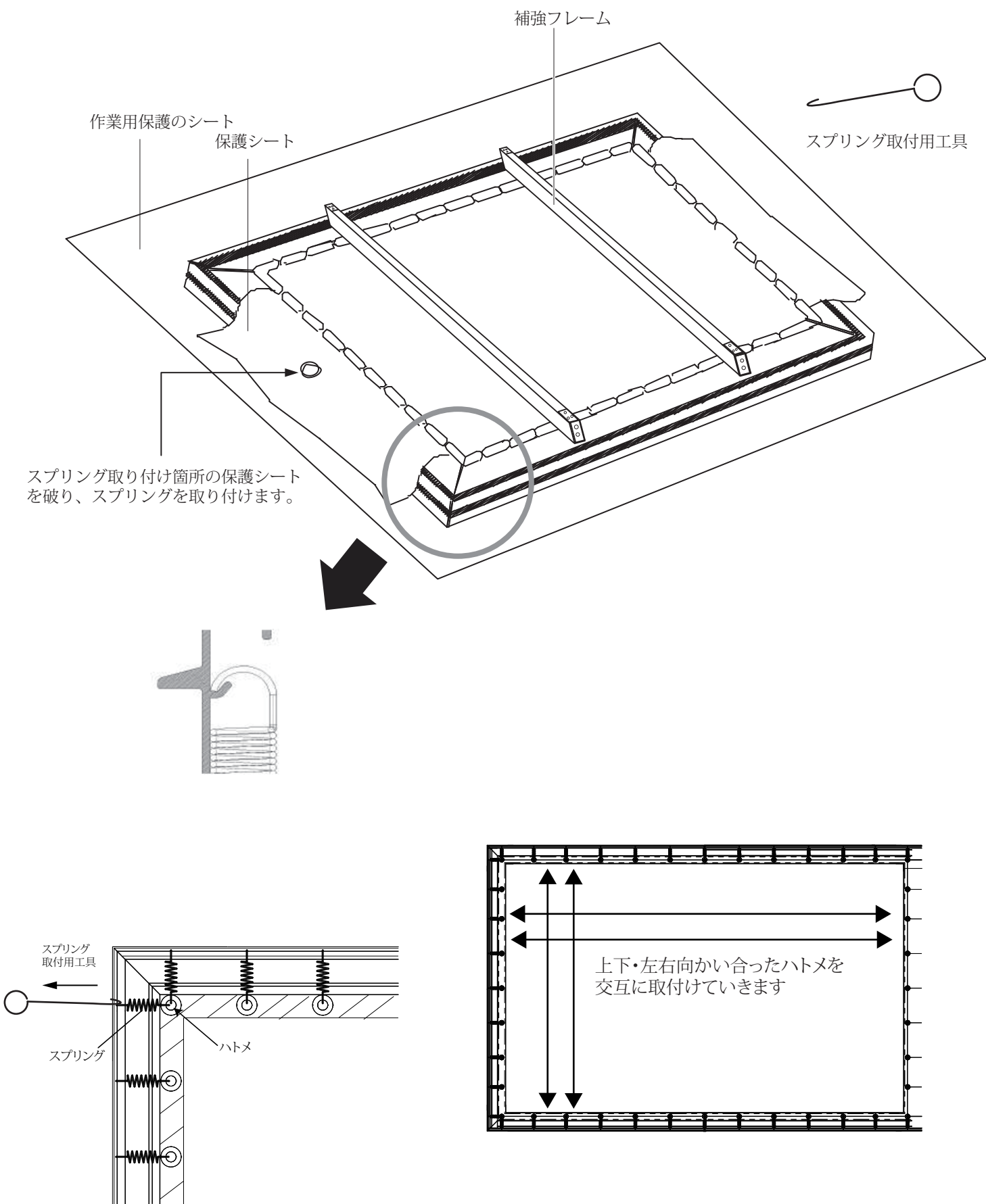
補強フレームを取り付ける M6 板ナットは、上下とも端から数えて
2個目と4個目になります。残りの M6 板ナットは壁に
固定するために使用します。

2本の補強フレームを取り付けます



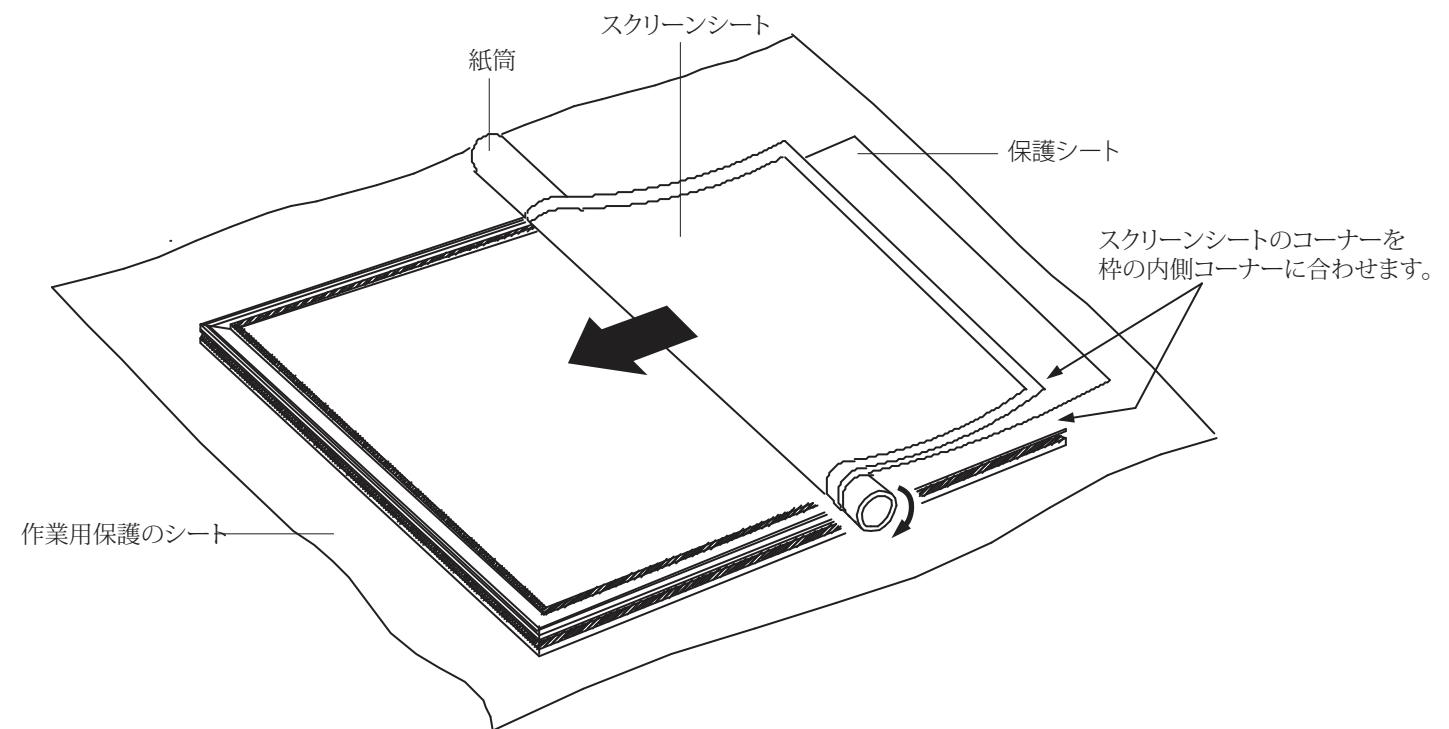
※スプリングを避けてA、B、Cがほぼ同じ寸法になるように配置する。

- (7) スクリーンシートの上下左右のアイレット(スプリング取り付け穴)の全てをスプリングで枠に固定します。
 枠の両サイドにスプリングを固定するときは固定部の保護シートを破って枠に取り付けてください。
 このとき、保護シートはまだ取り外さないでください。
 スプリングは向かい合った枠の辺に、交互に取り付けてください。



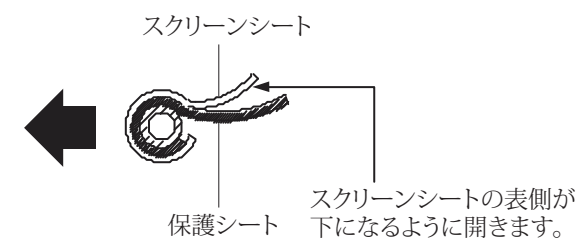
スクリーン生地を取り付け方法

- (1) スクリーンの梱包を開け、紙筒に巻かれたスクリーンシートを取り出します。
 その際、スクリーンシートは紙筒から外さないでください。スクリーンシートに折り目がつくなど、破損の原因になります。



- (2) 紙筒に巻かれたスクリーンシートの巻かれている方向を確認し、図に示すようにスクリーンシートの表面及びスクリーン保護シートが下になるように、組み立てた枠の上に、シートのコーナーを枠の内側のコーナーに合わせて置きます。

- (3) スクリーンシートをゆっくりと図の方向に開き、スクリーンシートが巻かれている紙筒を取り除きます。
 このとき、保護シートはまだ取り外さないでください。
 スクリーンを張り直したり、スクリーンシートを持ち運ぶときは必ず紙筒を開いた手順と逆の順序でもとの紙筒に巻き取ってください。
 紙筒は後日スクリーンを移動する際などに必要です。大切に保管してください。



注意 スクリーンシートは広げた状態で絶対に取り扱わないでください。
 取り扱いのときにスクリーンシートに折り目をつけると折り目がとれなくなるなど破損の原因になります。持ち運ぶ際は必ずもとの紙筒に巻き取って運んでください。

